

Forbes JAPAN「JAPAN WOMEN AWARD 2016」 P & Gが3部門で受賞！ 「活躍推進部門」でグランプリ獲得 「個人部門」でP & G初の日本人女性工場長が受賞 など

P & G（プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、本社：神戸市）は、このたび「Forbes JAPAN」が主催する「JAPAN WOMEN AWARD 2016」において、企業部門「活躍推進部門」グランプリ、個人部門「革新をもたらすリーダー賞」を含む、3部門で受賞しましたことを、お知らせいたします。

「JAPAN WOMEN AWARD 2016」は、世界的なビジネスリーダーのためのメディア「Forbes JAPAN」が主催する、1000人のキャリア女性と1000社の企業が選ぶ日本最大規模の女性アワードです。意欲のある女性が働きやすい環境づくりを積極的に進めている企業と、自ら道を切り拓き活躍している女性を表彰するアワードとして、今年初めて開催されました。

受賞概要

■ 企業部門

・「活躍推進部門」 グランプリ受賞

1990年代に女性活躍推進のための「ウーマンズネットワーク」を発足して以来、経営陣の強いコミットメントのもと、経営戦略として継続的に取り組んできたダイバーシティ推進の施策と、社外に向けた啓発の取り組みが高く評価されました。

・総合ランキング 8位入賞（従業員規模1,000名以上の部）

123企業のうち、WEB上の一般投票により、長年にわたる取り組みが高く評価されました。

■ 個人部門

・「革新をもたらすリーダー賞」受賞（P & G 滋賀工場長 高木 琴美）

長らく男性中心だった製造現場において、日本人女性初となる工場長として就任し、育児と仕事を両立させながら高い成果を出す活躍が、女性活躍のロールモデルとして評価されました。

※受賞者のプロフィール詳細は3ページ目をご参照ください。



当社では今後も、多様な社員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる組織づくりに取り組んでまいります。

■ご参考①：P & Gのダイバーシティ&インクルージョンの取り組み

P & Gでは、経営戦略の一環として「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の受容と活用）」を掲げ、「文化」「制度」「スキル」を3本柱に、1992年から約25年にわたって、女性活躍推進、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、多様な社員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる組織づくりに取り組んでいます。



P & Gのダイバーシティ&インクルージョンを支える3本柱

<文化>

- ・個々の多様性（違い）を互いに理解・尊重
- ・「ダイバーシティ&インクルージョン＝経営戦略」を社内に浸透
- ・社内イベントなどを通じて、社員の意識向上を図る

<制度>

- ・フレックスタイムの進化形「フレックス・ワーク・アワー」（2000年～）
⇒勤務時間を月単位で管理
- ・在宅勤務の進化形「ロケーション・フリー・デー」（2015年～従来制度を拡充）
⇒育児や介護の理由がなくとも月に5日間、オフィス以外で勤務可能
- ・時短・在宅勤務の進化形「コンバインド・ワーク」（2015年～従来制度を拡充）
⇒オフィス勤務と在宅勤務を合わせたフルタイム勤務
など

<スキル>

- ・数百種もの自社開発トレーニングプログラム
- ・多様性を活かすための「インクルージョン・スキル」を学ぶプログラム
など

社外啓発組織「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」

P & Gでは2016年3月に、社外啓発組織「P & G ダイバーシティ&インクルージョン啓発プロジェクト」を発足いたしました。同プロジェクトでは、ダイバーシティ&インクルージョンの啓発活動と、P & Gが独自に開発したダイバーシティ&インクルージョン研修プログラムの無償提供を軸に、他企業へのレクチャーやヒアリングなども行っています。

【活動①】

ダイバーシティ&インクルージョンの啓発



「プレスセミナー」「アンケート調査」「シンポジウム」などを通じて、「ダイバーシティ&インクルージョン」の意義を啓発

【活動②】

P & Gの研修プログラムを社外に無償提供



P & Gが開発したダイバーシティ&インクルージョンの研修プログラムを、他の企業や団体に無償で提供（P & G社員がトレーナーとして訪問し、実施）

■ご参考②：「革新をもたらすリーダー賞」受賞社員プロフィール



P & G 生産統括本部 滋賀工場 工場長 高木 琴美（たかぎ・ことみ）

P & Gで初めての日本人女性工場長として、化粧品「SK-II」ブランドの生産管理を担当する。育児と仕事を両立させながら、工場長として重責ある仕事で成果を出し、社内外の女性活躍のロールモデルとなっている。

<家族構成>

夫、子ども（娘）2人、母

<略歴>

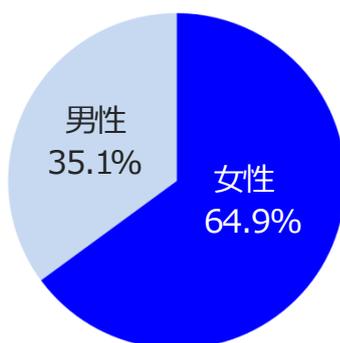
- ・1990年 P & G入社
生産統括本部 ヘアケア、ベビーケア、生理用品担当 配属
- ・2000年9月～2002年4月
マーケティング本部へ異動
- ・2002年5月～2005年1月
生産統括本部へ異動、ジャパンファブリックケア担当 CSPリーダーに就任
- ・2005年10月～2008年3月
高崎工場へ赴任、ドライオペレーションマネージャーに就任
- ・2008年4月～2009年6月
生産統括本部へ異動 本部内人事担当に
- ・2009年7月～2012年5月
同部門、ジャパンファブリックケア担当 アソシエートディレクターに就任
- ・2012年6月～2013年4月
シンガポールへ赴任、AAIJK 担当ファブリックケア アソシエートディレクターに就任
- ・2013年5月～
滋賀工場へ赴任、P & G初の日本人女性工場長に就任し、現在に至る

<主な取り組み>

工場勤務などで経験と実績を積み、2013年に日本人の女性で初めての工場長に就任した。社内では社員育成のためのトレーニングのトレーナーとして、後進の育成にも尽力している。社外では、滋賀化粧品工業会の会長に就任。社内のみならず、社外における女性活躍推進のためのフォーラムなどでの活動も積極的に行っている。

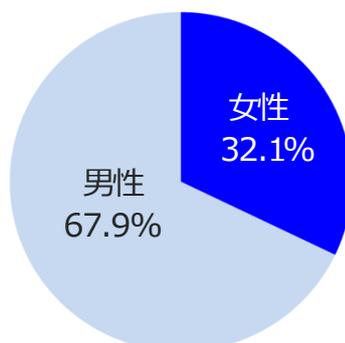
■ご参考③：P & G日本法人における女性活躍推進データ ※2016年7月時点

正社員に占める女性比率



管理職に占める女性比

(課長級以上)



役員に占める女性比率

